

科目名	現代社会	単位数	2	必修選択	必修
教科書	高等学校 新現代社会(第一学習社)				
副教材	ニュービジョン 現社(浜島書店) 改訂版 新現代社会ノート(第一学習社)				

教科・科目の内容

「現代社会」では、中学校の社会の公民的分野と高校での各教科・科目の学習をもとに、社会、文化、政治、法、経済、国際社会などいろいろな角度から現代社会の問題を考えることを通じて、現代に生きる人間としてのあり方・生き方を考えます。

また、幸福、正義、公正などを学ぶことで、人間として生きていく上で大切なこととは何かを理解することができるとともに、生命倫理、高齢社会など現代社会の問題点や対策などを考える力が身に付きます。

日常生活や将来とのつながり

ギリシア哲学者アリストテレスは「人間は、本性上、社会的動物である」と表現しています。すべての人間は社会集団の中でお互いに援助・協力・依存しながら生きる動物であるという意味です。その社会的動物が営んでいる経済や政治などの役割・問題点を理解することにより、これから社会に出て「よりよい社会」を形成する一人の大人としての考え方や行動が身につきます。

例えば、高校で始めて学ぶ青年期の心理学を学ぶことにより、自分を客観的に見る自己理解ができ、充実した高校生活を送るための考え方や行動が身に付き、それが今後の自分自身への進路などに反映されます。

この授業の学習方法(予習と授業の関わり)

予習とは、現代社会を知るための以下の2点です。

- ・現代社会の課題や問題点を理解するために、「新聞」を読む習慣を身に付ける。
- ・様々なメディアを利用し、いろいろな人の課題・問題点に対する考え方を知る。

到達目標

広い視野に立って、現代の社会について主体的に考察させ、理解を深めさせるとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を育て、平和で民主的な国家・社会の有為な形成者として必要な公民としての資質を養う。

評価の観点(評価方法)

① 関心・意欲・態度(行動観察・プリント点検)

現代の社会と人間に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加・協力する態度を身に付け、人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。

② 思考・判断・表現(定期試験・行動観察)

現代の社会と人間に関わる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。

③ 技能(行動観察・定期試験・問題演習)

現代の社会と人間に関わる事柄に関する諸資料を収集し有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。

④ 知識・理解(定期試験・問題演習)

現代の社会的事象と人間としての在り方生き方とかに関わる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。

指導学年	科目名	単位数	教科書名(出版社)	副教材名
3年	現代社会	2	高等学校 新現代社会 (第一学習社)	改訂版 新現代社会ノート(第一学習社)ニュービジョン 現社(浜島書店)

学期	学習内容	主な学習活動(指導内容)と評価のポイント	評価の観点			
			関	思	技	知
一学期	第1編 私たちの生きる社会 2. 資源エネルギー問題と私たちの生活 3. 科学技術の発達と私たちの生命 4. 情報社会と私たちの生活	<ul style="list-style-type: none"> エネルギーや生命倫理をめぐる問題について、どのようなものがあるかを理解し、それらについての知識を身に付ける。 高度情報社会で生きていくために、私たちは何に気をつけなければならないのかを考える。 青年の心理の特徴について理解し、職業選択や社会との関わり、伝統文化について学ぶことで、人間としてどのように生きていくかを考え、一人前の人間として自立するためには何をしたらよいかを考える。 	○	○	○	○
	※ 中間試験			○	○	○
	第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方 第1章 青年期と自己の形成	<ul style="list-style-type: none"> 民主政治における個人と国家、基本的人権と法の支配、日本国憲法の基本原理、平和主義と安全保障、基本的人権の保障と新しい人権、国民主権と議会制民主主義、内閣と行政の民主化、裁判所と人権保障、地方自治と住民の福祉、世論形成と政治参加を理解する。 	○	○	○	○
	※ 期末試験			○	○	○
二学期	第3章 現代の民主政治と政治参加の意義 第4章 国際政治の動向と日本の役割	<ul style="list-style-type: none"> 今日の国際社会に生きるものとして必要な国家主権と国際法、国境と領土問題、地域紛争と人種・民族問題、国際連合の役割、核兵器の廃絶と国際平和、外交政策と日本の役割を理解する。 	○	○	○	○
	※ 中間試験			○	○	○
	第5章 現代経済社会と私たちの生活	<ul style="list-style-type: none"> 資本主義経済、社会主義経済の特徴、経済の基本的なしくみである企業、市場経済、経済成長、景気変動、政府の経済的役割と租税の意義、金融機関のはたらき、戦後の日本経済の動き、産業構造の変化、雇用と労働問題、公害の防止と環境保全、消費者保護と契約、社会保障と国民福祉を理解する。 	○	○	○	○
※ 期末試験				○	○	○
三学期	第6章 国際経済の動向と日本の役割 第7章 民主社会に生きる倫理	<ul style="list-style-type: none"> 国際経済のしくみと貿易の拡大、国際経済の動向、発展途上国の経済と南北問題、国際協調と日本の役割を理解する。 自己の生きる課題とのかかわりにおいて、先哲の基本的な考え方を手掛かりとして、人間の存在や価値について思索を深めさせる 	○	○	○	○
	※ 学年末試験			○	○	○

備考	
----	--